



平成22年基準
茨城県消費者物価指数
 平成24年四半期(4~6月分平均)

1 概況

(1) 総合指数は平成22年を100として 3か月平均で99.7	4月 100.0 前期比は0.1%の上昇	5月 99.7 前年同期比は0.2%の上昇	6月 99.3
(2) 生鮮食品を除く総合指数は 3か月平均で99.6	4月 99.9 前期比は0.3%の上昇	5月 99.7 前年同期比は0.1%の上昇	6月 99.3
(3) 食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数は 3か月平均で98.4	4月 98.6 前期比は0.2%の上昇	5月 98.5 前年同期比は0.3%の下落	6月 98.2

図1 指数の動き

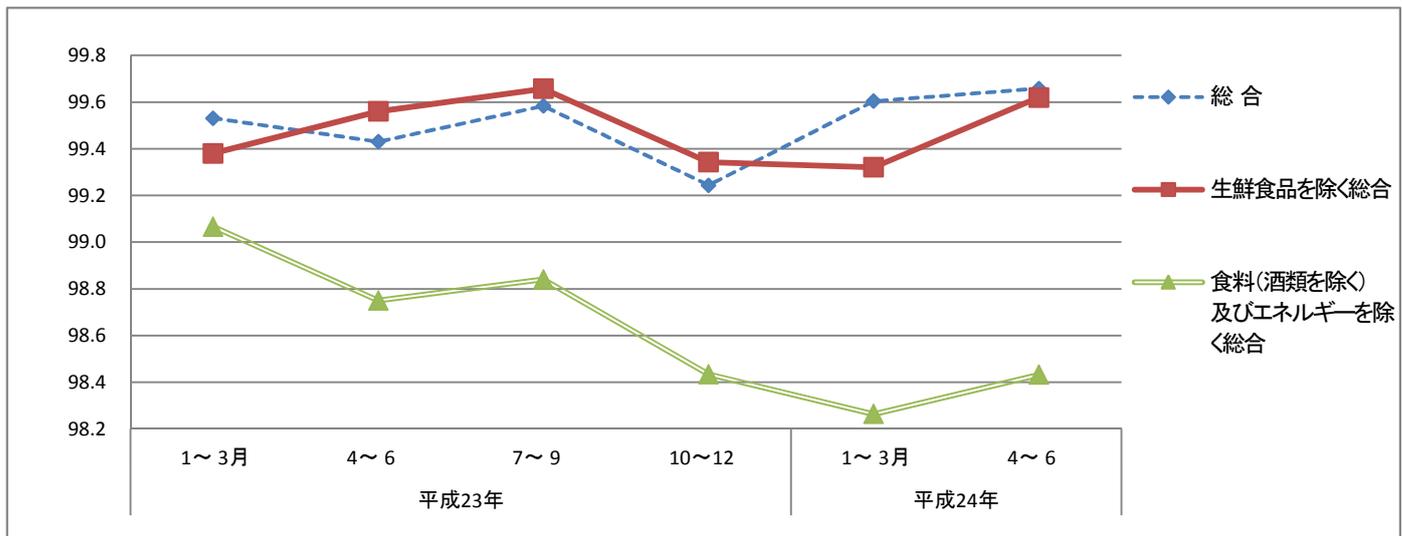


表1 四半期平均指数の動き

(平成22年=100)

年 月	総合	生鮮食品を除く総合	食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合	前期比 (%)			前年同期比 (%)				
				総合	生鮮食品を除く総合	食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合	総合	生鮮食品を除く総合	食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合		
四半期平均	指	数	数	前	期	比 (%)	前	年	同	期	比 (%)
平成23年	1~3月	99.5	99.4	99.1	-0.5	-0.5	-0.8	-0.4	-0.6	-1.1	
	4~6	99.4	99.6	98.7	-0.1	0.2	-0.3	-0.8	-0.7	-1.5	
	7~9	99.6	99.7	98.8	0.2	0.1	0.1	-0.2	-0.2	-0.9	
	10~12	99.2	99.3	98.4	-0.3	-0.3	-0.4	-0.8	-0.6	-1.5	
平成24年	1~3月	99.6	99.3	98.3	0.4	0.0	-0.2	0.1	-0.1	-0.8	
	4~6	99.7	99.6	98.4	0.1	0.3	0.2	0.2	0.1	-0.3	

2 前期・前年同期からの動き

- (1) 今期の総合指数を前期比で見ると、0.1%の上昇となった。これを、10大費目指数で見ると、食料(前期比:▲0.9%)、家具・家事用品(同:▲0.8%)などが値下がりし、被服及び履物(同:3.2%)、光熱・水道(同:1.1%)などが値上がりした。
- (2) 今期の総合指数を前年同期比で見ると、0.2%の上昇となった。これを、10大費目指数で見ると、家具・家事用品(前年同期比:▲1.7%)、教養娯楽(同:▲1.7%)などが値下がりし、光熱・水道(同:6.1%)、被服及び履物(同:3.2%)などが値上がりした。

表2 10大費目指数, 前期比・前年同期比

(平成22年=100)

指数	総合	食料	食料		住居	光熱 水道	家具 家事用品	被服及び 履物	保健 医療	交通 通信	教育	教養 娯楽	諸雑費
			生鮮 食品	生鮮食品 を除く 食料									
指数	99.7	99.6	100.5	99.3	97.6	107.8	96.9	103.7	99.0	102.1	97.6	94.1	104.1
前期比 (%)	0.1	-0.9	-5.9	0.1	-0.3	1.1	-0.8	3.2	0.2	0.7	0.2	0.6	-0.2
前年同期比 (%)	0.2	0.2	5.6	-0.4	-0.9	6.1	-1.7	3.2	-0.5	0.3	0.2	-1.7	-0.2

[前期比で上昇・下落幅の大きかった項目]

10大費目	中分類	品目
上昇		
被服及び履物 衣料 (4.7%) 女兒スカートなど
光熱・水道 他の光熱 (5.2%) 灯油
下落		
食料 生鮮野菜 (▲6.6) はくさいなど
家具・家事用品 家庭用耐久財 (▲2.8%) ルームエアコンなど

[前年同期比で上昇・下落幅の大きかった項目]

10大費目	中分類	品目
上昇		
光熱・水道 電気代 (8.2%) 電気代
被服及び履物 衣料 (5.4%) 婦人スラックス(ジーンズ)など
下落		
教養娯楽 教養娯楽用耐久財 (▲12.1) パソコン(デスクトップ型)
家具・家事用品 家庭用耐久財 (▲6.4) 電気洗濯機(洗濯乾燥機)



ここがポイント

- ・ 四半期平均指数は総合で99.7となり、前期比で0.1%の上昇、前年同期比で0.2%の上昇となった。
- ・ 前年同期比の上昇となった理由は、教養娯楽用耐久財(パソコン(デスクトップ型))、家庭用耐久財(電気洗濯機(洗濯乾燥機))などが値下がりしたものの、電気代、衣料(婦人スラックス(ジーンズ))などが値上がりしたことによる。
- ・ 食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数は98.4。前年同期との比較では、0.3%の下落となった。